

京都・祇園祭ボランティア21の沿革

沿革

- 昭和58年(1983) 前年(昭和57年)第13回日本都市青年会議京都大会が開催され、様々な青少年活動団体の有志が集まり開催に協力しました。会議運営に協力した団体の一部が『京都青少年活動推進会議』を発足させ、京都の青少年団体の連携や相互理解、活動紹介などを行ってまいりました。
- 昭和59年(1984) 伊佐政和会長(故人)らが、京都の青少年による京都の伝統と文化継承を自分たちの活動の大きな柱にしようと、祇園祭山鉾巡行の曳き手ボランティアへの参加を申し出、山鉾連合会のご理解とご協力により、長刀鉾・芦刈山・油天・神山・郭巨山・淨妙山・保昌山・孟宗山・役行者山の8基の曳き手・昇き手ボランティアと、湯茶接待に参加させていただいたのが始まりでした。
- 昭和63年(1988) 四条傘鉾への奉仕を開始。
- 平成5年(1993) 放下鉾、北観音山への奉仕を開始。
- 平成6年(1994) 菊水鉾への奉仕を開始。
- 平成7年(1995) 月鉾、木賊山、岩戸山、伯牙山への奉仕を開始。
- 平成8年(1996) 発展的解消により『京都・祇園祭曳き手青年ボランティア委員会』を創り、より充実した活動に対応する組織として活動を継続しました。関わるボランティアも500名近くになりました。
- 平成12年(2000) 八幡山への奉仕を開始。
- 平成13年(2001) 『京都・祇園祭ボランティア21』と名称を変更しました。船鉾への奉仕を開始。
- 平成15年(2003) 設立に尽力された初代会長伊佐政和が死去。故人の意志を受け継ぎ、想いを新たに活動20周年を迎えました。八幡山、橋弁慶山への奉仕を開始。
- 平成19年(2007) 白楽天山への奉仕を開始。
- 平成21年(2009) 次世代を担う青少年の参加の一環として、堀川高校が当会に参画しました。
- 平成25年(2013) 黒主山への奉仕を開始。
- 平成26年(2014) 24日に後祭山鉾巡行が49年ぶりに復興し、前祭とあわせて2日間の奉仕が始まりました。
- 平成27年(2015) 台風11号接近による豪雨の中でも、早朝より参集し、大事なく奉仕させていただきました。
- 平成30年(2018) 記録的猛暑による高温注意情報が発出される中でも、粛々と巡行に奉仕しました。活動開始より35周年を迎えました。19基の山鉾の曳き手・昇き手としてご奉仕させていただくとともに、辻廻し場での給水補助や、巡行参加者への湯茶提供、花傘巡行などにも協力させていただいております。

設立に尽力された方々

- 伊住 政和 (茶道裏千家副本部長)
- 楠 勝好 (京都青友会会長)
- 木村 安輝 (京都青年会議所常任理事)
- 林 肇 (京都市青年団体協議会会長)
- 村山 忠彦 (京都モロロジー支部青年部監事)
- 安本 明世 (青年の船の会京都府支部長)
- 関根 秀治 (茶道裏千家淡交会総本部長)
- 仲 祥介 (京都YMCA主事)
- 長橋 栄一 (車いすと仲間会代表)
- 野田 兼義 (青年海外協力隊京都OB会長)



京都・祇園祭ボランティア21をご支援いただき、ありがとうございます

当会の活動には、加盟団体のみならず、多くの方々のご協賛・ご協力をいただいております。ここに、厚く御礼申し上げます。今後とも、なお一層のご協力・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

毎年ご協賛をいただいております

- 京都ライオンズクラブ 当会活動への助成をいただいております。
- ㈱京都銀行 ボランティア参加者への記念品について、ご協賛をいただいております。
- ㈱SCREENホールディングス ボランティア参加者の募集ポスター印刷等について、ご協賛をいただいております。
- タイド・ビーレジャーサービス㈱ 湯茶提供について、ご協賛をいただいております。
- 積水ハウス㈱京滋奈々メゾン支店 湯茶接待等のスタッフ用活動服について、ご協賛をいただいております。

毎年ご協力をいただいております

- 京都市 当会の活動について、後援いただいております。
- (公財)京都YMCA 準備委員会の開催や、巡行前日〜当日のボランティア本部について、設営会場を提供いただいております。
- 京都市洛南障害者授産所 活動に必要なパンフレット等の印刷について、お世話になっております。
- 京都市立開晴小学校・開晴中学校 毎年600人規模で開催するオリエンテーション開催会場について、提供をいただいております。
- ㈱本家玉壽軒 (公財)京都府国際センター ウェッジ㈱ B-way㈱ ㈱光 ㈱写真化学

表彰

内閣府 チャンド・ユースサポート章

- (子ども若者育成功労者表彰) H22.11.24 「国の重要無形民族文化財である祇園祭山鉾巡行に曳き手ボランティアとして参加し、地域の伝統文化を担う人材育成や世代を超えた交流活動を行っている。」ことを評価いただきました。
- (教育社会賞) H25.11.28 (京都府知事より感謝状) H20.11.15 H15.11.8 (京都市長より感謝状) H20.11.15 H15.11.8

京都新聞大賞 感謝状(創設25周年・20周年)



今後とも『京都・祇園祭ボランティア21』へのご理解・ご協力を賜りますよう、宜しく申し上げます。活動の詳細はホームページからもご覧になれます。

<http://www.gionmatsuri.info/>

京都・祇園祭ボランティア21

〈事務局連絡先〉

〒602-0073 京都市上京区堀川通寺之内上る寺之内堅町682番地
一般社団法人 茶道裏千家淡交会総本部内
電話：075-451-5166 (代) メール：info@gionmatsuri.info

京都・祇園祭ボランティア21

35周年記念誌 1984～2019

～祇園祭山鉾巡行ご奉仕に関わらせていただいて～



おかげさまで 35周年

会長挨拶



『京都・祇園祭ボランティア21』は皆様方のお陰をもちまして、活動開始より35周年を迎えさせていただきました。本年は新しい御代の始まりであり、祇園祭創始1150年の大変おめでたい年に、当会も僅かな歴史ではありますがこのような御祝いをいただく機会を与えられ、大変光榮でございます。

昭和59年に山鉾8基250名で奉仕させていただいて以来、現在では19基の山鉾に奉仕させていただき、曳き手・昇き手のみならず、山鉾巡行の様々な場面で600名以上が奉仕させていただいております。この間、平成26年には後祭復興という歴史的な局面にも立ち会うことが出来ました。これは、35年間にわたる山鉾連合会様および各山鉾町様の皆様方への深いご理解とご信頼に支えられ、ボランティアメンバーの各人の真摯な活動結果が蓄積して出来上がった結果であります。厚く御礼申し上げます。

当会の活動に参画する各青少年団体の成り立ちや主旨は様々ではありますが、当会創設以来一貫して『京都の祭に仕むる者の手で』を合い言葉に、「青少年の健全育成と社会参加」と「伝統、文化の継承と発展」を理念として、各団体の力を結集して活動を続けてまいりました。今日では、高校生から社会人、外国人を含む仲間若いう力を結集した活動を通じ、人間として一回り大きく成長することで、それぞれが職場や学校、地域などで活躍しています。また、祇園祭を通じて文化的な教養を深めることは、文化首都・京都で生きる社会人としての大きな意義であります。これまでに参加した多くの青少年の成長の糧となり、必ずや、京都の今後の発展に活かされることと自負しております。

さて、加盟団体の方々におかれましては、活動本来の主旨を今一度ご確認ください、今後ともご奉仕させていただいているという謙虚さ、そしてお祭りを楽しむのは当然ですが、「青少年の健全育成と社会参加」という当会の理念も忘れず、参画していただきたく、お願い申し上げます。近年では後祭巡行の復興に伴う活動日の増加、沿道観光客の増加、豪雨や記録的な酷暑などの新たな課題に対しても、山鉾連合会様のご依頼のもと、積極的にご協力させていただいております。加盟団体の方々には、このような活動についてもご協力いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

最後になりましたが、毎年、多方面より当会活動にご賛同いただき、非常に多くのご協賛・ご協力をいただいております。ここに、厚く御礼申し上げますとともに、今後とも、当会へのご理解、ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

京都・祇園祭ボランティア21会長 西川 知孝

御祝いの言葉

『京都・祇園祭ボランティア21』がこのたび創立35周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げますとともに、西川会長をはじめ、長年にわたって活動に御尽力いただきました歴代役員並びに会員、関係各位の皆様のためゆめ熱意と御努力に深く敬意を表します。

貴団体の皆様は、昭和58年に京都青少年活動推進会議として発足されて以来、千年以上の歴史を持つ祇園祭の伝統と精神を受け継ぐ貴重な担い手として活動されるとともに、これまでに数多くの青少年に、山鉾巡行でのボランティア活動を通して、京都の街に根づく伝統文化と町衆の心意気を継承してこられました。

今、京都府では、文化庁の全面移転を2021年度に控え、これまで以上に「文化首都・京都」としての役割が求められております。京都を、そして日本を代表する伝統行事である祇園祭を、これまで支えてこられました皆様の存在は、まさしく京都にとりての宝であります。ぜひ、今後ともより一層の御活躍をいただきますよう、心から御期待申し上げます。

結びに当たり、京都・祇園祭ボランティア21の今後ますますの御発展を祈念いたしまして、私からの祝いの言葉といたします。

京都府知事 西脇 隆俊



世の安寧と人々の幸せを願って行われてきた祇園祭は、本年創始から1150年を迎えます。大火や戦乱など、幾多の苦難に見舞われながらも絶えることなく続けられてきたのは、時代時代の町衆たちが不断の努力を重ね、かけがえのない文化に守り伝えてきたからこそ。まさに「現代の町衆」として、山鉾の曳き手や昇き手などで大きな役割を果たしてこられた『京都・祇園祭ボランティア21』の皆様が、この度創立35周年の節目を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。活動を支えてこられた全ての皆様に、深く敬意を表します。

祇園祭に脈々と受け継がれてきた、社会全体を思い、未来に思いを致す心。これは、全ての人が平和と豊かさ享受できる社会を目指し、国連が掲げる取組目標「SDGs」の精神にも通じます。本市といたしましては、祇園祭創始1150年の歴史に思いを馳せ、そこから大いに学びながら、これからも市民の皆様と共に持続可能なまちづくりを進めてまいりますので、京都の未来を担う若き皆様方のお力添えをお願い申し上げます。

結びに、貴団体が今後ますます発展され、世界の宝・祇園祭を永らく支え続けられますよう祈念いたします。

京都市長 門川 大作



『京都・祇園祭ボランティア21』の皆様は、初代会長の故伊佐政和様の呼びかけで始まり、爾来35年という長い年月を経て今日に至っている訳ですが、祇園祭山鉾巡行に携わる者として、その間に皆様から頂いたご奉仕の数々と業績に対し、深く感謝申し上げます。創立35周年を迎えられることに、心からお祝いを申し上げます。

この35年の間ご奉仕を続けて頂けたのは、歴代の会長様始め皆様様の多大なご尽力があり、更に祇園祭に奉仕すること、熱心な参画と一貫した思いがあったからこそ、そのこととしたいと思います。

更にその間に養われたノウハウや組織の成熟には目を見張るものがあります。あらゆる気候、全ての事象に対し適切に対処して頂ける頼りになる組織であり、祇園祭山鉾巡行中の所作も統一感と礼節を持って行われており、我々、祭の当事者も見習わなければならない事がたくさんございます。

今年の祇園祭は新天皇元号の下で行われる最初のお祭であり、また祇園祭創始1150年の節目の年であり、更に山鉾行事が国の重要無形民族文化財に指定されて40周年、ユネスコの無形文化遺産に登録されて10周年という記念すべき年でもあります。

新たな時代に向けて、山鉾行事を運営する私どもと一体となって、日本のみならず世界に誇るお祭を未来に継いでいくために、引き続きご協力を申し上げます共に、貴会の益々のご発展ご繁栄をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

公益財団法人 祇園祭山鉾連合会 理事長 岸本 吉博



この度は、創立35周年をお迎えになられたこと、衷心よりお祝い申し上げます。

創立以来、人との繋がりや伝統行事の大切さを伝えることを第一義に取り組んで来られた貴団体の活動が、またひとつ節目を重ねられることは、大変嬉しいことでもあります。

さて、その様な『京都・祇園祭ボランティア21』の活動姿勢の象徴ともいえるのが、祇園祭前のオリエンテーションに併せて、ご奉仕いただく皆様がお参りいただく姿でありまして、緊張した面持ちで神前に臨まれる皆様の背中に、頼もしさを感じております。毎年入れ替わる曳き手ボランティアの皆様へのご案内は、ご苦労もおありかと存じますが、ご奉仕いただいた方々の数だけ、祇園祭の歴史や意義を理解しようとしてくださる方がいる、そのように身をもって感じられることは、この変化の激しい世の中において、誠に心強いことと存じます。

今年は御代替わりによる新しい時代の幕開けであると共に、祇園祭が創始されてより数えて1150年を迎えます。35年に亘り蓄積されてきた豊富なご経験を、ご存分に発揮いただき、皆様と共にこの佳節を考えたいと存じます。

今後とも祇園祭に心を寄せてくださる皆様と祭との懸け橋としてご尽力下さいますようお願いと、益々のご隆昌をお祈り申し上げ、お祝いのご挨拶と致します。

八坂神社 宮司 森 壽雄

京都・祇園祭ボランティア21の年間活動

活動内容

当会は、加盟団体の構成員の中から、当会の活動趣旨に賛同し会の発展に志ある者を役員(約30名)として選出し、運営しています。会を総括する会長のもと、円滑な山鉾巡行にご奉仕すべく、様々な約束事や準備事項について分担する委員会を設け活動しております。

曳き手青年ボランティア委員会

曳き手・昇き手を担う約400名以上のボランティアメンバーに対し、山鉾への割振や役割分担調整、注意事項の確認、山鉾連合会様、山鉾町内様との打ち合わせや、オリエンテーションの開催等を行っています。

情報ネットワーク委員会

山鉾巡行の円滑な運行に関して必要な補助、無線連絡、時間記録、辻廻し場の給水支援、湯茶提供などを行っています。巡行当日には、山鉾連合会担当理事の指示のもと、約200名以上のボランティアがお手伝いさせていただいております。

文化・情報委員会

参加ボランティアに対するパンフレット等資料作成、巡行写真記録作成管理、祇園祭に関する情報発信、ホームページ管理、活動記録、参加者に対する教養・啓発活動等を行っています。

事務局

当会に関する連絡・調整・渉外等の総務等を行っています。
(一社)茶道裏千家淡交会総本部内に設置

加盟団体

(一社)ガールスカウト京都府連盟
(一社)京都経済同友会青年政策研究部会
京都サイクリング協会
(公社)京都青年会議所
京都府モラロジー協議会
近畿青年洋上大学京都府同窓会
車いす仲間会
(一社)茶道裏千家淡交会総本部青年部
茶道裏千家淡交会京都四青年部連合会
立正佼成会京都教会青年部
B'CLUB
(公財)京都市コースサービス協会
京都府理容生活衛生同業組合青年部
京都ものづくり塾
7.17友の会
京都市職員祇園祭曳き手ボランティア会
SCREEN祇園祭同好会
積水ハウス京都同好会
京都府庁ボランティア21
京祭会
佛富士電工
佛京都銀行
京都市立堀川高等学校
ボイスカウト同好会
堀川高等学校祇園祭OB会
KYOTO International Team (K.I.T)
MPM京都

京都府青年国際交流機構(IYEO)様におかれましては、当会創設以来、34年間の長きにわたって深くご参画いただきましたが、平成29年度で当会活動より円満に卒業されました。永年のご協力、大変ありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

準備 (1月～5月)

理事会(1月・2月・3月)
総会開催に向け、昨年の活動を振り返り、改善点を踏まえ、今年度の活動計画、予算案を企画します。

総会(2月下旬)
加盟団体責任者が参集し、昨年度の活動報告・決算、今年度の活動・予算案の審議が行われ、本格的に活動がスタートします。

勉強会・説明会(4月上旬)
加盟団体の責任者・リーダー等が参集し、勉強会を行います。例年、山鉾連合会様・八坂神社様等から講師をお迎えし、祇園祭や山鉾に関するご講演をいただき、教養を深める努力をしております。説明会では、ボランティアの募集等に向け、活動の細部を確認します。(例年、京都モラロジー会館等をお借りして開催)

曳き手ボランティア参加者募集(5月)
加盟団体では、4月の説明会後、参加者を募ります。団体以外の参加の公募も行われ、応募者多数の場合は選考を行います。

曳き手委員会(5月・6月)
団体責任者が参集し、参加人数や担当山鉾や支援部門の割振を調整・決定します。その後、リーダー・サブリーダーが参集し名簿作成を行い、参加者に対し、奉仕内容・オリエンテーション案内を発送します。(例年、京都YMCA会館をお借りして開催)



講師をお迎えしての勉強会(4月)



委員会による活動調整会議(5月・6月)

山鉾巡行に向けて (6月中旬～下旬)

合同打合せ

5月中にボランティアの体制を確認した後、6月中旬からいよいよ活動が本格化します。山鉾連合会様、ボランティア参加にご協力いただく山鉾町のボランティア担当者の皆様にご参加いただき、当会の本年度担当ボランティアリーダーおよびサブリーダーが、奉仕内容の説明を受け、山鉾の役割確認・人数・衣装等の細部の確認を行います。担当する山鉾は、毎年入れ替りますので、リーダー・サブリーダーは真剣に打合せを行います。
(例年、明倫自治会館をお借りして開催)



合同打合せ会(6月・明倫自治会館)



合同打合せ会(6月・明倫自治会館)

情報ネットワーク委員会(6月下旬)

山鉾連合会様より依頼を受けた内容の確認・手配等を行います。湯茶担当(前祭では主に堀川高校の女子生徒が担当)や、辻廻し場の給水、理事付連絡員等の連絡体制の確認などを行います。
(例年、山鉾連合会会議室で開催)



無線通信訓練(7月上旬)

オリエンテーション・八坂神社社参・御祓(6月最終日曜)

オリエンテーション

6月最終日曜、山鉾巡行に参加するすべてのボランティア総勢600名以上が、山鉾連合会様、ご奉仕参加にご協力いただく山鉾町の担当者様から、今年のご奉仕内容の説明を受けます。総勢600名以上のボランティアと、山鉾連合会様、山鉾町ボランティア担当者様が一堂に会し、八坂神社宮司様、山鉾連合会理事長様のご臨席を賜り、開催します。山鉾連合会様からの注意事項と、当会からの心構えや注意事項の説明の後、担当山鉾及び山鉾連合会役割別に分かれ、それぞれ、巡行にかかる内容(集合時間、衣装、役割分担、巡行時の注意事項等)の説明を受けます。この時、中心となるのが、前週の打合せで奉仕内容を確認したリーダー、サブリーダーです。大規模な会場が必要のため、これまで弥栄中学校様・華頂学園様・東山開晴館小中学校様などのご協力で開催しております。



オリエンテーション会場(東山開晴館)



全体説明会



会場設営・準備



各山鉾別に分かれての打合せ会



参加者受付



湯茶担当の打合せ

八坂神社社参・御祓

オリエンテーション終了後、全員で八坂神社に正式参拝を行います。昇殿して御祓いを受ける時より、八坂神社の氏子として気分を引き締め、山鉾巡行を迎えます。



総員で八坂神社へ社参



昇殿正式参拝



祈願・御祓い

山鉾巡行 前日～当日(前祭7月16日～17日・後祭23日～24日)

前日準備

メンバーの携行品・記念品等の仕分け、参加メンバーの充足状況の最終確認、気象状況に応じた臨機の対応準備、通信基地局設置、湯茶接待の準備などを行い、翌日の巡行に備えた最終準備及び確認を行います。
(京都YMCA会館にご協力いただいております)



本部運営・携行品等の準備



巡行当日朝のリーダー打合せ



各山鉾班の参集状況確認

青少年の参加促進

当会の活動目的に則り、次世代を担う青少年の山鉾巡行ボランティアへの積極的参加を奨励しています。平成21年からは、堀川高校より総勢100名近くの生徒が曳き手・曳き手・湯茶接待に奉仕し、貴重な経験をさせていただいております。卒業生の中には、引き続きOB会として活動に当たり、若手メンバーの中心的存在としても活躍しています。また、職域団体でも積極的に新入社員などが参加し、それぞれの担当でリーダー等もつとめます。

国際交流

外国人や留学生等も曳き手ボランティアとして参加しています。祇園祭への外国人青年の参加体験を通じ、京都・日本の文化発信にも力を入れており、英語での資料作成や説明にも力を入れています。



衣装の着装



外国人団体による奉仕



藁草履の着装



昇き手としての奉仕



ご町内を出立



豪雨の中での巡行(H27)

花傘巡行

平成27年より、後祭の花傘巡行へご奉仕させていただいております。



酷暑の四条通を進む曳き手



花傘巡行への奉仕



花傘巡行への奉仕

安全対策

巡行開始後は、山鉾巡行位置等を逐時確認し、山鉾連合会役員様へ伝えとるに不測の事態に備えます。巡行列には無線連絡員が無線機を携帯して帯同しており、巡行状況を関係者へ伝えます。また、要所にも無線連絡員が無線機を携帯して待機しており、各山鉾の通過時刻を連絡・記録しています。熱中症等による巡行参加者の不測の事態に備えるため、リーダーには塩飴を携帯させ、所定場所には補給水も用意しています。また、参加ボランティアを対象として、傷害保険を契約しています。平成29年度より、中京消防署のご協力により、役員・リーダー・サブリーダー向けに普通救命講習を行っています。

山鉾巡行の裏方として

無線連絡員(定点時間記録および巡行列に帯同)



無線での情報共有

YMCA本部での情報集約



補助・補給員の配置(H30記録的猛暑)(塩飴・ドリンク携行)



御池本部での巡行状況確認

巡行支援

山鉾に奉仕する曳き手・昇き手男子約450名に加え、山鉾連合会様の依頼により、東方としても200名以上が様々な巡行支援の役割に奉仕しております。いずれも山鉾巡行にはなくてはならない存在であり、曳き手を経験したベテランメンバーを中心に、奉仕させていただきます。連合会旗持手：「祇園会」の旗を掲げ、山鉾連合会役員と共に巡行列先陣をつとめます。辻廻し水担当係：四條新町、御池新町交差点において、山鉾の辻廻しの際に必要な水の給水をつとめます。理事付連絡係：無線および携帯電話を携帯して山鉾連合会理事に帯同し、伝令をつとめます。蔵改め係(後祭)：蔵改め場(御池市役所前)の手伝い方をつとめます。注連縄切場整理(前祭)：長刀鉾による注連縄切りの際、整理をつとめます。無線連絡係：無線機を携帯して巡行列に帯同し、また、辻廻し場等の要所に部署し、巡行状況の連絡を行うとともに、通過時刻を記録します。新町御池本部(前祭)：無線連絡網より巡行情報を整理し、ボードに掲示して関係者への情報提供を行います。



巡行列を導く連合会旗手



巡行支援要員



後祭蔵改め係



辻廻し場での給水(四條新町・新町御池)



提供準備(新町御池本部)



巡行奉仕者への湯茶提供

山鉾巡行奉仕を終えて

反省会・納会(後祭の翌週)
山鉾巡行の興奮が心の中に残っている翌週、リーダー、サブリーダーが一堂に会し、今年度の活動を振り返って反省点や改善点を確認し、次年度へのより良い活動につなげるよう意見交換を行います。この会をもって、祇園祭ボランティアの熱い7月が終わります。(ウイングス京都、京都アスニー等で開催)

理事会(9月・12月)
反省会で挙げられた課題、山鉾連合会様との意見交換会の結果、写真記録の整理結果などより、今年度の活動の総括と次年度への課題を整理します。活動記録写真の整理、ホームページの維持管理などを行います。12月には決算報告書を作成し、1年間の活動を締めくくります。